

サイチョPRESS

10月はごみ減量・リサイクル推進月間です!

日頃より市のごみ分別にご協力いただきありがとうございます。市民の皆さまの高い分別意識により、市のごみ量は着実に減少してきました。

しかし、平成24年度4月以降ごみ量は増加傾向に転じています。左下のグラフのとおり、今年度は昨年度より、家庭から出る1人1日あたりのごみ量は約20g増となっています。

そこで、市民の皆さまにより一層ごみの減量とリサイクル意識の向上を図っていただくため、10月を「**ごみ減量・リサイクル推進月間**」と位置づけ、意識啓発事業や市職員によるごみ集積場の見回りなどの取り組みを行います。

毎日出すごみは日頃のちょっとした心がけで減らすことができます。この機会にごみについてもう一度考えてみましょう。引き続き市民の皆さまのご協力をお願いいたします。

●実施期間

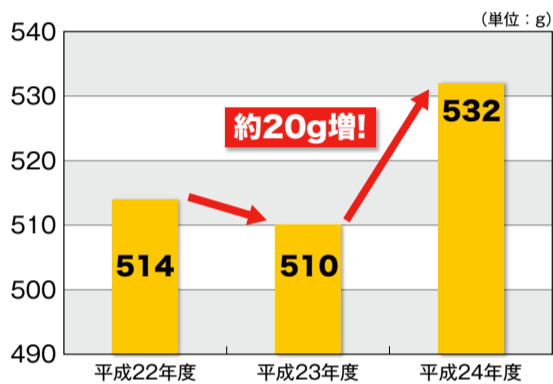
平成24年10月1日(月)～10月31日(水)

●自治会・町内会でのチラシの回覧・配布

●ごみ集積場の早朝巡視

10月中旬～下旬の間、市職員が市内にある一部のごみ集積場の早朝巡視を行い、ごみの持ち去りチェックや分別意識向上の啓発活動を行います。

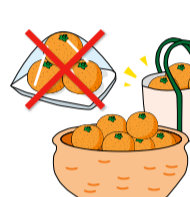
家庭から出る1人1日あたりのごみ量
(4月～7月における平均値)



みんなで取組もう～ごみ減量～



買い物に行く前に冷蔵庫を確認する



包装の少ない商品を選ぶ



マイバッグ・マイボトル・マイはしを使う



分別ルールを守り、ごみと資源を分けて出す



生ごみはよく水を切ってから出す

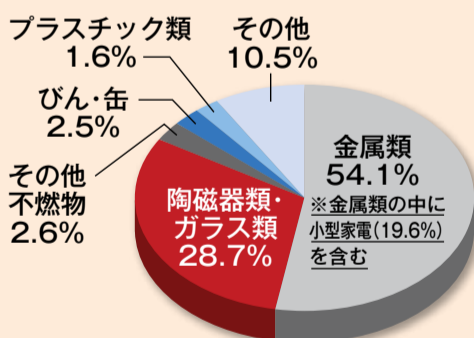
ごみと資源の組成調査を行いました

市では、家庭や事業所から排出されるごみの状況を調査するため、組成調査を行っています。

この調査は、地区ごとに数ヶ所サンプリングしたごみの内容について、種類ごとに構成割合(重量比)を調べるものです。

このたび、平成24年度の調査結果(速報値)がまとまりましたのでお知らせします。

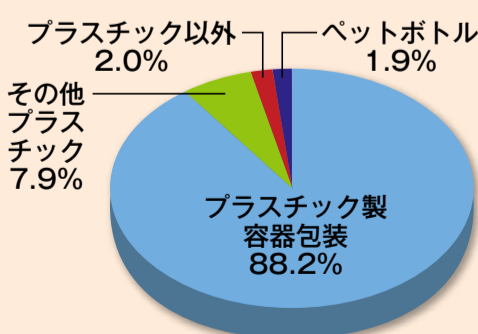
① 燃やさないごみ



本来「燃やさないごみ」に分類されないプラスチック類やびん・缶などの異物が14.6%の割合を占めています。また、金属類の中には小型家電が19.6%含まれています。これら小型家電は市の拠点回収に出すことができます。

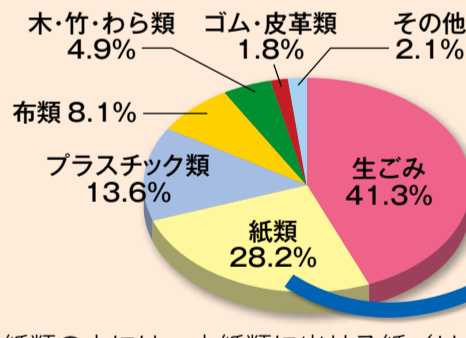
【詳しくは裏面をご覧ください】

② プラスチック製容器包装



材質はプラスチックでもバケツやビデオテープなど容器や包装以外のその他プラスチックが、7.9%の割合を占めています。これら容器や包装以外のプラスチックは「燃やすごみ」として出しましょう。

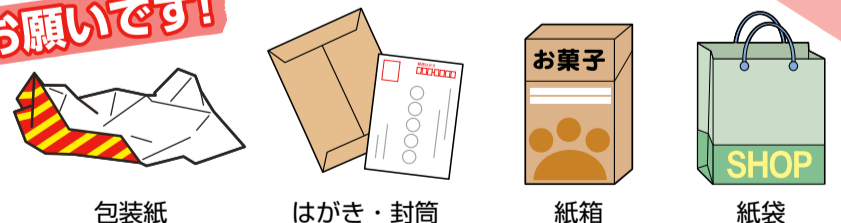
③ 燃やすごみ (※巻広域地区の普通ごみ含む)



紙類の中には、古紙類に出せる紙(リサイクルできる紙)が13.4%含まれており、特に雑誌・雑紙(ぞつがみ)の割合が高くなっています。

| 紙類の内訳 | | 割合 |
|------------|-------|----|
| 新聞紙 | 3.5% | |
| 雑誌・雑紙 | 8.7% | |
| 段ボール | 0.7% | |
| 紙パック | 0.5% | |
| 小計 | 13.4% | |
| リサイクルできない紙 | 14.8% | |
| 合計 | 28.2% | |

お願いします!



～これら雑紙は「燃やすごみ」として出さずに「古紙類」として出しましょう～

※なお、以下のものは古紙類には出せません。詳しくは「ごみ分別百科事典」をご覧ください。



プラスチック製容器包装の分別に迷ったら…



プラマークを探してみよう!!

このマークがプラスチック製容器包装に出せる目印になります。

